

大阪文化賞・大阪芸術賞・大阪文化祭賞 贈呈式&記念コンサート

記念コンサート

- 指揮：梅田 俊明
- 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

プログラム

- グリンカ／歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲
- ヴォーン＝ウィリアムズ／グリーンズリーヴスによる幻想曲
- スメタナ／交響詩「モルダウ」
- ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ長調 作品67「運命」



梅田 俊明



日時

平成19年 **11月3日** (土)
13:30 開演〈13:00開場〉

会場

大阪国際交流センター大ホール
大阪市天王寺区上本町8-2-6

- 地下鉄「谷町九丁目」(谷町線・千日前線) ⑤番または⑩番出口
「四天王寺前夕陽ヶ丘」(谷町線) ①番または②番出口
- 近鉄「上本町」

演奏

大阪フィルハーモニー交響楽団

1,000名を無料で招待

「往復はがき」に①住所、②氏名、③電話番号、④参加人数(2名まで)を明記し、9月25日(火)【当日消印有効】までに下記までお申込みください。

※応募多数の場合は抽選となります。

〈申込先〉

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッスルホテル4階
(財)大阪21世紀協会内「贈呈式事務局」

〈お問合せ〉

大阪市コールセンター(気軽にになわコール)
☎06-4860-7285 (8時～22時・年中無休)

- 主催／大阪府(生活文化部文化・スポーツ振興室文化課)
大阪市(ゆとりとみどり振興局文化部文化振興担当)
大阪府教育委員会・大阪市教育委員会
財団法人大阪21世紀協会(水都・創造プロジェクトチーム)

大阪文化賞・大阪芸術賞・大阪文化祭賞



大阪の文化・芸術の振興にすばらしい功績を残された方々に、昭和38年より「大阪文化賞」「大阪芸術賞」を、また昨年より両賞に加え「大阪文化賞特別賞」「大阪芸術賞特別賞」「大阪文化発信賞」をお贈りしています。

また、昭和38年より「大阪文化祭」を開催し、参加公演の中から特に優れたものに「大阪文化祭賞グランプリ」「大阪文化祭賞」「大阪文化祭賞奨励賞」をお贈りしています。今年度の受賞者は「大阪文化祭賞グランプリ」に豊竹咲大夫の会（浄瑠璃）並びに日本テレマン協会（室内管弦楽・合唱等）が、「大阪文化祭賞奨励賞」に菊若啓州芸暦50年記念演奏会（三味線等）、南部靖佳さん（フルート奏者）及び二塚裕美さん（ピアニスト）が決定しました。

すばらしい受賞者の方々をお迎えし、11月3日文化の日に「大阪文化賞・大阪芸術賞」並びに「大阪文化祭賞」の贈呈式と記念コンサートを開催します。

また、「大阪文化賞・大阪芸術賞」受賞者については、9月中旬頃決定する予定です。どうぞご期待ください。

Profile

梅田 俊明

TOSHIAKI UMEDA (Conductor)

84年桐朋学園大学音楽学部卒業。86年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。83、84年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後大阪センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。N響、読響、東京都響を始め国内主要オーケストラとの共演を重ねている。2000年より仙台フィル常任指揮者に就任。96年には南西ドイツ・フィルとスロヴァキア・フィルの定期演奏会に出演し好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚く、将来を期待されている指揮者の一人。



大阪フィルハーモニー交響楽団

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、50年社団法人化、60年には改組、現在の名称になった。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。2003年からは大植英次が音楽監督を務めている。またこれまでに、遠山信二、外山雄三、若杉弘、秋山和慶、手塚幸紀、大友直人等と専属契約を結んだほか、内外の一流音楽家と共演してきた。大植が音楽監督に就任して以来、定期演奏会の会場をザ・シンフォニーホールに移し、各回2公演、年20公演を開催、定期会員数を約3倍に、年間入場者数も約1万人増やすなど、大きな注目を集めている。これまで数回にわたりヨーロッパ、北米、韓国、台湾で演奏旅行を行い、各地で絶賛を博した。2005年、「マーラー／交響曲第6番」「ショスタコーヴィチ／交響曲第7番」「ブルックナー／交響曲第8番」、2006年には「R.シュトラウス／英雄の生涯」のCDをリリースするなどレコーディング活動も活発に行っている。2007年、創立60周年を迎えた。